

各 県 教 育 委 員 会 教 育 長 様
 各 県 教 育 事 務 所 長 様
 各 県 市 町 村 教 育 委 員 会 教 育 長 様
 各 県 公 立 小 中 学 校 校 長 様
 各 県 義 務 教 育 学 校 校 長 様
 各 関 係 機 関 各 様

東北地区公立小中学校事務職員研究協議会
 福島県公立小中学校事務研究会
 会 長 加 勢 法 子

第24回 東北地区公立小中学校事務研究大会福島大会 第37回 福島県公立小中学校事務研究大会

(第二次案内)

盛夏の候、貴職におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記研究大会を福島県郡山市において開催いたします。

つきましては、本研究大会を盛大かつ実りあるものにしたいと存じますので、貴所属職員の参加につきまして、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

○ ● 開催要項 ● ○

- 大会テーマ** **新時代の学びを主体的にマネジメントする学校事務
 ～ 連携と協働を展開し、子どもの豊かな育ちを支援する学校事務職員 ～**

<目 的>

 - 東北各県の研究と実践を学び、新しい時代の学校事務の果たす役割と職務を探求し、学校教育の充実と発展に寄与する。
 - 福島県事務研第五次長期研修計画で示す学校事務像「子どもの学びを支援する学校経営事務の実践」の具現化に向け、学校事務連携を展開し、主体的・自律的に学校経営事務に参画する学校事務職員としての資質向上を目指す。
- 主 催** 東北地区公立小中学校事務職員研究協議会 福島県公立小中学校事務研究会
- 共 催** 福島県教育委員会 郡山市教育委員会
- 主 管** 福島県公立小中学校事務研究会
- 後 援** 文部科学省 青森県教育委員会 秋田県教育委員会 岩手県教育委員会
 山形県教育委員会 宮城県教育委員会 福島県小学校長会 福島県中学校長会
 全国公立小中学校事務職員研究会 福島県市町村教育委員会連絡協議会
 福島県PTA連合会 公益財団法人日本教育公務員弘済会福島支部
 教職員共済生活協同組合福島県事業所 福島県学校生活協同組合
- 期 日** 令和4年10月6日(木) ～ 10月7日(金)
- 日 程**

	9:30	10:00	10:50	12:00	13:15	16:15
【1日目】	受付	開会式	文部科学省 行政説明	昼食	第1分科会A 青森・秋田・山形 各県発表	
					第1分科会B 岩手・宮城・福島 各県発表	
					第2分科会 耶麻支部発表	
					第3分科会 いわき支部発表	
					第4分科会 福島支部発表	
					第5分科会 各県個人発表 6県	
	9:45	10:00		11:45	12:30	
【2日目】	受付	記念講演		分科会報告会 ・閉会式		
- 会 場**

郡山ユラックス熱海	福島県郡山市熱海町熱海2丁目148-2	TEL024-984-2800
ほっとあたま	福島県郡山市熱海町熱海2丁目15-1	TEL024-984-3108
ホテル華の湯	福島県郡山市熱海町熱海5丁目8-60	TEL024-984-2222
- 参 加 者** 東北地区公立小中学校事務職員 教育委員会事務局職員及び教育関係者
 その他学校事務職員、学校事務担当者

10 分科会発表

【第1分科会A】

青森県	研究テーマ	主体的なマネジメントに向けた意識改革 ～職務に関するアンケートとあつぷるプランの周知をとおして～	
	発表概要	<p>私たち学校事務職員が時代の変化に対応するために、主体的に学び、資質向上や事務機能強化に励むことが極めて重要となってきます。青森県学校事務研究協議会研究部では、令和2年7月に文部科学省より発出された「事務職員の標準的な職務の明確化に係る学校管理規則参考例の送付について（通知）」を受け、標準的な職務一覧表（鼎事研案）を見直すとともに職務に関するアンケートを実施しました。</p> <p>また、令和元年度に完成したあつぷるプランについて令和3年度に各地区事務研の研修会やYouTubeを活用して会員に周知しました。</p> <p>アンケートの結果とあつぷるプランに対する会員の反応から、青森県学校事務職員の現状や会員の職務に対する意識が見えてきました。学校等のチームの中で学校事務職員として果たすべき役割とそのために私たちに必要なことを探っていきます。</p>	
	発表者	八戸市立城下小学校 主事 倉内 和敏 五戸町立五戸中学校 主事 田中 友紀	むつ市立川内小学校 主事 佐藤 祐貴
	司会者	弘前市立城東小学校 主事 葛西 葉月	
秋田県	研究テーマ	連携と協働を展開するために これからの共同実施 ～子どもの豊かな育ちを支援するために～	
	発表概要	<p>秋田県の共同実施は県内のほぼ全域で行われており、各市町村における運営及び活動にも安定感が見られるようになってきましたが、同時に様々な課題も見られるようになってきました。近年、本県では標準的な職務一覧表や秋田県教職キャリア指標が整備され、学校事務職員が主体的に学校運営へ参画することがさらに求められています。学校事務職員を取り巻く環境の変化に対応し、共同実施をより効果的に機能させるためにはどうすればよいのか。これまでの取り組みを分析した結果から成果と課題を把握し、共同実施を次のステップへ進める方法を模索します。</p>	
	発表者	由利本荘市立本荘南中学校 主任主査 田口さゆり	秋田市立泉小学校 主任 澤田 雅俊
	司会者	羽後町立西馬音内小学校 主任主査 小塚 誠	
山形県	研究テーマ	築き上げよう！子どもの豊かな学びと育ちを支援する学校事務 ～山形っ子の笑顔のために、新たな一歩を踏み出そう～	
	発表概要	<p>山形県公立小中学校学校事務職員研究協議会には三つの専門部（研修企画部、研究部、情報部）があり、会員が学ぶための環境を整える活動を行っています。なかでも、ホームページを活用した「実践紹介シート」の募集活動は三つの専門部が連携を取りながら進めている特徴的な活動です。</p> <p>今回は、「新時代の学び」と研究ビジョン「やまがた花笠プラン」を意識した実践を紹介し、併せて「実践紹介シート」を使用することで中期研修計画との関係性にも触れて発表します。</p> <p>県協議会設立20周年記念、そして「やまがた花笠プラン」を策定し10周年記念となる記念の年に、御参会の皆様と共に新たな一歩を踏み出せる取り組みを見つけないかと考えます。</p>	
	発表者	鶴岡市立藤島中学校 事務主査 菅原 隆	米沢市立南部小学校 主事 狩野久美子
	司会者	長井市立長井北中学校 事務主査 仁科佳代子	

【第1分科会B】

岩手県	研究テーマ	深化するいわてのグランドデザイン ～チャレンジし続ける事務研活動の取組～	
	発表概要	<p>「学校事務をつかさどる創造的領域での取組」が求められているなか、これからの学校事務職員に必要なキーワードとして「企画調整する」「アウトプットする」を掲げ、「みんなのできる実行策を再構築するための取組」として、（1）つかさどる学校事務を意識づけるための職務標準表の改訂、（2）学校事務経営計画を活用した実践的経営参画の方策提起、（3）共同実施組織の確立と、連携による強化、（4）学校事務機能向上のための研修体系の確立、（5）事務長制の確立という5つの項目を進めていくこと、そして、実践するための具体的なアクションプランを提示しました。</p> <p>いわてのグランドデザインで示す「めざす学校事務職員の姿」へ近づくと、「子どもたちのために何ができるか」ということを常に意識した研究を進め、改善のためのアクションを起こしていく「事務研活動のチャレンジ」を発表します。</p>	
	発表者	滝沢市立滝沢中学校 主事 畠山 諒也	盛岡市立飯岡小学校 主事 晴山 俊大
	司会者	盛岡市立黒石野中学校 主査 高瀬 史明	
宮城県	研究テーマ	伊達なみやぎの学校事務職員の未来を考える（ファイナル） ～事務職員が担うべき専門性と組織的な学校事務の関わりを考える～	
	発表概要	<p>2012年から本研究テーマで積み重ねてきた研究も、今年で10年目を迎えました。最終回となる今回は、平成27年12月の「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（答申）」以降、教諭等及び学校事務職員の標準的な職務の明確化に至るまでの学校マネジメントに関する諸通知等を学校事務の目線から捉え、一連の流れを踏まえた上で、（1）教育行政の専門職としての役割と学校事務職員に期待されていること、（2）学校事務の「機能」と「領域」について、（3）「学校マネジメント」におけるこれからの「学校事務職員の在り方」について考察していきます。</p>	
	発表者	気仙沼市立鹿折小学校 主幹兼事務長 假屋 順子	石巻市立牡鹿中学校 主事 川村 嶺平
	司会者	白石市立白石第二小学校 主事 渡辺 珠歩	
福島県	研究テーマ	新時代の学びを支援する学校事務職員を目指して ～「第五次長期研修計画」の課題からみえるもの～	
	発表概要	<p>平成30年に策定された「第五次長期研修計画」は令和6年度に終了を迎えます。福島県事務研プランニング委員会では、平成30年度夏期研修会や令和3年度学校事務研修会（研修動画の配信）において本研修計画の周知・活用を会員に提案してきました。これは、本会の課題である研究・研修体制の支部格差や、大量退職・採用による世代交代などの対応策として進めてきたものです。今後は次期研修計画策定に向け、「第五次長期研修計画」で示した研修プログラムについて検証し、成果と課題を明確化することが重要です。県内外の会員から広く意見を聞くことにより、次期研修計画策定に向けての足がかりとしたいと思えます。</p>	
	発表者	郡山市緑ヶ丘中学校 副主査 紺野 直之	浅川町立浅川中学校 主事 辻川 弘毅
	司会者	相馬市立桜丘小学校 主査 鈴木 徹	

【第2分科会】

耶麻支部	研究テーマ	学校事務が主体的に関わり連携を推進する姿を求めて ～つなぎ ひろげる 教育活動を支援する取り組み～	
	発表概要	<p>専門性を生かし、学校経営に主体的に参画し、学校事務の効率化と教員の業務負担軽減につなげるという、これからの学校事務職員の「求められる姿」に近づくため、耶麻地区事務研では4つの共同連携グループを研究班とし、教科書事務、就学援助事務、事務運営計画作成、校務共有フォルダの活用等、それぞれの課題解決に取り組みました。そして、その成果を地区事務研が集約したのちに会員へ提供し、学校間や学校事務職員以外の職員・団体等と共有・評価・改善をしました。これらが学校事務の効率化と機能強化、教員の業務負担軽減など教育活動を支援するという、これからの学校事務職員の姿となるのではないかと、という仮説のもと、現在も研究を進めています。</p>	
	発表者	喜多方市立熊倉小学校 主査 進藤 明美	喜多方市立第二小学校 主査 穴澤 美穂
	司会者	喜多方市立山都中学校 主査 佐藤 幸子	
	指導助言者	喜多方市教育委員会 学校教育課主幹兼管理主事兼教育総務課主幹 佐藤 潤 様	

【第3分科会】

いわき支部	研究テーマ	学校力を高める学校事務を目指して ～つなげ！ つながれ！！ 縦横無尽に～			
	発表概要	<p>学校事務職員が、それぞれの学校や事務研で、様々な方向に自由自在につながりながら課題を解決していく。その小さな実践の積み重ねの結果、全体として「学校力を高める学校事務」が構築されるのではないか、と仮定し、「やってみよう」と思っていた実践、「自分が必要と思った実践」に楽しみながら取り組み、また仲間と高め合う研究を進めてきました。</p> <p>この分科会で考える「つなぐ」には、「助け合う」・「共有する」・「協働する」・「継承する」・「継続する（バージョンアップしながら）」・「話を聞く（理解する）」・「わかりやすく伝える（理解してもらう）」等の意味を込めています。</p> <p>また、指導助言の藤原先生には、節目節目にアドバイスをいただき、参加の皆様とつながる分科会にしたいと考えています。</p>			
	発表者	いわき市立内町小学校 いわき市立鹿島小学校 いわき市立平第六小学校	主査 藁谷 理絵 主事 但野 秀之 主事 千葉 悠可	いわき市立錦東小学校 いわき市立好間第一小学校	副主査 古川 麻美 主事 吉田 一輝
	司会者	いわき市立小名浜第三小学校	主査 馬場 正樹	いわき市立植田中学校	主査 鶴沼 圭子
	指導助言者	国立教育政策研究所初等中等教育研究部長 藤原 文雄 様			

【第4分科会】

福島支部	研究テーマ	『つなぐ』からはじまる課題解決への取り組み ～福島地区事務研の連携実践をととして『つなぐ』を考える～			
	発表概要	<p>福島地区事務研は、これまでの研究体制や地区の課題を見直し、令和元年度より新たな研究体制へ移行しました。『つなぐ』を研究の大きな柱と捉え、「事務職員同士がめぐる・研究を次の世代へつなげる・多職種および教育関係機関とつなげる」という3つの『つなぐ』を意識した研究活動を推進しています。本発表では、これらの連携した実践について成果と課題を発表します。また、本分科会に参加された皆さんと共に、『つなぐ』先にある今後求められる学校事務職員と事務研の在り方について考え、学びあう分科会としたいと思います。</p>			
	発表者	福島市立信夫中学校 福島市立平野小学校 福島市立大島中学校	主査 明石 栄子 主事 橋本 洵己 主事 国分 政人	福島市立吾妻中学校 福島市立ふくしま支援学校	主査 松崎 裕圭 主事 一ノ瀬彩香
	司会者	福島市立福島第二中学校	主査 大塚 亮	福島市立清明小学校	副主査 青木 隆
	指導助言者	横浜市立大学国際教養学部 准教授 阿内 春生 様			

【第5分科会】

福島県	研究テーマ	東日本大震災の被災校の学校事務職員として学ぶべきこと ～弱みを強みに変えた「若手育成研修」や「防災研修」を通して～			
	発表概要	<p>浪江町は福島県の中でも東日本大震災による津波や原発事故の影響を多く受けている地域の一つで、現在も居住することのできない帰還困難区域が多くあります。そのような被災地に勤務する学校事務職員として学ぶべきことはなにか、「学校事務の共同・連携実施」における弱みを強みに変えた研修制度を交えて紹介したいと思います。</p>			
	発表者	浪江町立なみえ創成中学校	主事 植田 一輝	浪江町立なみえ創成小学校	主事 関 歩夢
秋田県	研究テーマ	教育委員会との連携、協力を通じて ～活動の中で見えてきたもの～			
	発表概要	<p>秋田県大仙市にある小中学校事務職員で組織されている大仙市小中学校事務連絡協議会。その事務局を務めて早6年になりました。事務局の業務は様々ありますが、その業務の一つとして大仙市教育委員会との連絡調整があります。その活動の実践事例を報告するとともに、経験したこと、感じたことなどをお話したいと思います。</p>			
山形県	研究テーマ	学校事務職員の基盤を創る初任者支援の在り方 ～現行の支援体制と実際の声から考える若手学校事務職員が望む姿とは～			
	発表概要	<p>令和3年度で採用6年目を迎えた私たちは、山形県教育庁で実施する中堅職員研修を受講しました。研修を通して自分たちを見つめ直し、現状を振り返る中で、山形県の初任者支援がより充実したものになって欲しいと思いました。</p> <p>そこで、今回のレポートでは若手の実際の思いを聞くべく、県内採用5年目までの職員を対象に普段の仕事や研修に対して思っていることについて、アンケートを実施しました。アンケート結果の考察、共同実施モデル校事業における支援体制と個人実践を基に、若手職員が望む初任者支援体制の在り方について発表させていただきたいと思えます。</p> <p>参加者の皆さんとたくさん意見を交わし、初任者支援について一緒に考える時間にしたいと思いますので、よろしくお願いたします。</p>			
	発表者	山辺町立相模小学校 天童市立蔵増小学校	主事 高橋 杜於 主事 三浦佳穂子	天童市立千布小学校	主事 阿部 優紀
青森県	研究テーマ	主事が「つかさどる」を実践するために必要なこと			
	発表概要	<p>平成29年の学校教育法の改正から早くも5年が経過し、その間にはたくさんの研修会等で改正の背景や、これからの学校事務職員に求められる資質・能力について学んできました。しかし現状として「つかさどる」に関連する業務にはまだ取り組めていないという主事も少なくはないと思います。</p> <p>本発表では、八戸市の主事を対象としたアンケートの結果をもとに、「つかさどる」についての考えや、取り組めていない原因、取り組むことができている実践等について情報を共有します。</p> <p>研修会等での学びを実践へつなげるために、それらの情報の気づきをキッカケとし、私たちには何ができるのか、私見を発表します。</p>			
	発表者	八戸市立是川小学校 主事 工藤 光			
岩手県	研究テーマ	子どもの豊かな育ちを支援する学校事務の実現を目指して ～えがおプラン2020-2022の取り組みから～			
	発表概要	<p>岩手県事務研胆江支部では、実践力を高める研修活動として、課題解決と学校経営参画を意識した目標達成シート『えがおシート』により可視化する取り組みを続けてきました。</p> <p>コロナ禍で研修が深められない中でも年2回の個人研修や共同事務室への参集の機会を活かし、先輩・仲間からのアドバイスや励ましを受けて自身の取り組みをブラッシュアップし、高いレベルでの課題解決を目指しています。</p> <p>今回、「子どもに現金を持たせる」ことへの心配・不安を無くそうと、採用5年目までの若手で構成された衣川中学校区内3校の学校事務職員が立ち上がり、可能な限り現金を扱わないことを目標に、金融機関を活用した収入・支出への移行と、それに伴う校内処理体制の構築へのチャレンジを発表します。</p>			
	発表者	奥州市立衣川中学校	主事 小林輝之進	奥州市立衣里小学校	主事 長岡由佳理
宮城県	研究テーマ	石巻地区小中学校事務研究会第VII期研修計画について			
	発表概要	<p>石巻地区小中学校事務研究会では、令和2年度から「時代の変化に対応し、自ら考え行動できる学校事務職員をめざして」を研究テーマに、第VII期研修計画を策定し、活動しております。策定にあたって、これまでの研修計画や地区の現状、第VII期研修計画の概要等を紹介いたします。研究会では、「事務をつかさどる」事務職員を一人でも多く育成できるような研修を考えていきます。</p>			
	発表者	石巻市立蛇田中学校	総括主幹兼事務長 茂木 里江	女川町立女川小学校	事務長 杉山留美子

※ 各分科会会場は、参加申込者数により決定し、後日大会HPにてお知らせいたします。なお、メイン会場～分科会会場間の移動手段として無料の送迎バスを運行します。

- 11 記念講演 演題 「弱小チームからワールドカップで勝つまで」
 講師 元ラグビー日本代表・郡山フロンティア大使
 大野 均 氏



肩書 東芝ブレイブルーパス東京 アンバサダー
略歴 2001年 - 2020年、東芝ブレイブルーパス
 日本代表キャップは98で歴代トップ
 ラグビーワールドカップ2007年度、2011年度、2015年度出場
 2014年 - 郡山市フロンティア大使
著書 『ラグビー日本代表に捧ぐ』（廣済堂出版 2019年）
 『はじめてのラグビー』（世界文化社 2019年）
 『ラグビーに生きる』（ベースボールマガジン社 2013年）

- 12 大会参加費 4,500円
 13 申込み 別紙「大会募集要項」に沿ってお申込みください。
 14 アクセス



◆メイン会場までのアクセス

JRを利用される方

磐越西線 磐梯熱海駅下車 徒歩8分（※磐梯熱海駅～ユラックス熱海間送迎バスを用意いたします。）

車で有料道路を利用される方

最寄インター 磐梯熱海ICから車で5分（Pユラックス熱海約350台、スポーツパーク約130台駐車可。）

郡山駅よりバスを利用される方

両日ともに郡山駅（西口）より臨時送迎バスを運行します。発着時刻は、募集要項をご覧ください。

【お問い合わせ】

大会実行委員会 事務局長 尾又 芳行

所属：棚倉町立棚倉中学校
 〒963-6131 福島県東白川郡棚倉町大字棚倉字城跡88-5
 TEL：0247-33-3176 FAX：0247-33-2224
 Email：jimukyoku@kir.jp

大会公式ホームページ及び各SNSを開設しております。
 大会の情報や実行委員会の活動の様子をご覧いただけます。

